



2026 年 7 月 15 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ イ フ ュ ー ズ
代表者名 代 表 取 締 役 秋 枝 静 香
(コード番号：4892 東証グロース・福証 Q-Board)
問合せ先 取締役 CFO 経営管理部長 三 條 真 弘
<https://www.cyfusebio.com/contact>

令和 8 年度ソーシャルインパクトプロジェクトへの事業採択に関するお知らせ ～AI/DX を活用した再生医療等製品開発の統合型プラットフォーム構築～

当社は、この度、福岡バイオコミュニティが推進する公募事業「令和 8 年度ソーシャルインパクトプロジェクト」（以下「本事業」）に採択されましたことをお知らせいたします。

1. 本件の背景及び概要

当社は、成長拡大市場である再生・細胞医療分野において、独自の基盤技術「バイオ 3D プリンティング」を活用し、革新的な再生医療等製品の実用化及び事業基盤（サプライチェーン）の確立へ向けた製品開発を推進しております。

当社は九州大学発のベンチャーとして創業して以来、一貫して九州・福岡地域において、地元研究機関や企業、行政との産学官連携を通じて、新しい医療の創出及び地域経済の活性化を目指した地域創生活動に積極的に取り組んでまいりました。

このような背景のもと、当社事業「AI/DX を活用した再生医療等製品開発の統合型プラットフォーム構築」が、「福岡バイオコミュニティ」(<https://www.fbv.fukuoka.jp/>)（以下「同コミュニティ」）が推進するソーシャルインパクトプロジェクトに採択されました。本事業は、AI やデジタル技術（DX）をはじめとする先進的技術を活用した革新的なバイオ関連製品の研究開発を加速度的に推進するものであり、地域の産学官が連携して最先端のインフラや高度な人材を巻き込んだ強固なバイオエコシステム（産業集積拠点）の形成を目指すバイオコミュニティの発展に資するものです。

当社は、本事業採択を機に、引き続き当社の製品開発力及び事業基盤の強靱化に直結する同コミュニティとの連携強化を進め、バイオコミュニティの拡大及びバイオ産業の発展へ向けた活動を加速させてまいります。

さらに、このような地域創生活動や産学官連携によって築かれた強固な事業基盤に基づいて、北米をはじめとするグローバル市場への事業展開を推進し、将来的には、地域創生による当社独自の事業価値向上とグローバルな事業展開による中長期的な企業価値向上の発展的融合を目指してまいります。

2. 業績に与える影響

本件による当社業績への影響については、本事業完了後、2027 年 12 月期決算（2027 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日）において反映（上限 2,000 万円）する予定です。

以 上